



独立した第三者保証報告書

2023年6月26日

住友金属鉱山株式会社
代表取締役社長 野崎 明 殿

KPMG あずさサステナビリティ株式会社
東京都千代田区大手町一丁目9番7号

代表取締役

斎藤 和彦

当社は、住友金属鉱山株式会社(以下、「会社」という。)からの委嘱に基づき、会社が作成した、2022年4月1日から2023年3月31日までを対象とした「International Council on Mining and Metals (ICMM: 国際金属・鉱業評議会)のPerformance Expectations (PEs)に対するセルフアセスメント結果ー2022年度アセットレベルレポート(東予工場)」(以下、「アセットレベルレポート」という。)に記載されている「アセットレベルの評価サマリー」及び「実施の証拠及びギャップ」(以下、「自己評価」という。)に対して限定的保証業務を実施した。

会社の責任

International Council on Mining & Metals (以下、「ICMM」という。)の ICMM Performance Expectations: Validation Guidance (以下、「規準」という。)に従って自己評価を作成し、表示する責任は会社にある。

当社の責任

当社の責任は、限定的保証業務を実施し、実施した手続に基づいて結論を表明することにある。当社は、国際監査・保証基準審議会の国際保証業務基準 (ISAE) 3000「過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務」に準拠して限定的保証業務を実施した。

本保証業務は限定的保証業務であり、主としてアセットレベルレポート上の開示情報の作成に責任を有するもの等に対する質問等の保証手続を通じて実施され、合理的保証業務における手続と比べて、その種類は異なり、実施の程度は狭く、合理的保証業務ほどには高い水準の保証を与えるものではない。当社の実施した保証手続には以下の手続が含まれる。

- ICMM Performance Expectations (以下、「PEs」という。)の実施に関する東予工場のマネジメントへの質問
- アセットレベルレポートの作成に責任を有するものへの質問
- 根拠となる文書の閲覧
- PEsの実施に関連する東予工場の方針、手続及び内部統制の適切性の検討
- 発見事項との整合性の観点からのアセットレベルレポートの閲覧

結論

上述の保証手続の結果、アセットレベルレポートに記載されている自己評価が、すべての重要な点において、規準に従って作成され、表示されていないと認められる事項は発見されなかった。

当社の独立性と品質管理

当社は、誠実性、客観性、職業的専門家としての能力と正当な注意、守秘義務及び職業的専門家としての行動に関する基本原則に基づく独立性及びその他の要件を含む、国際会計士倫理基準審議会の公表した「職業会計士の倫理規程」を遵守した。

当社は、国際品質管理基準第1号に準拠して、倫理要件、職業的専門家としての基準及び適用される法令及び規則の要件の遵守に関する文書化した方針と手続を含む、包括的な品質管理システムを維持している。

以上